

整備概要

- この施設は、建築・設計・什器備品総経費11億2546万8千円。
- 地域生活支援拠点として、障がいがある方が親亡き後も住みなれた地域で安心して生活を継続していくために、社会福祉施設等施設整備費補助金に基づき、国庫及び県費の補助金を受けて整備されたものです。

設計コンセプト

- 周辺は低層住宅と農地の広がる自然豊かな環境です。この豊かな環境を最大限享受しながらも、周辺への配慮を意識した設計と致しました。かつて建っていた長屋門の佇まいを車寄せに置き換えました。館名サインの仕上がりは長屋門の土壁の風合いを踏襲しました。
- 従来の設計は閉鎖的で閉ざされた印象をもつことが多い中、入所者が自由に出入りできるテラスを設けることや豆腐工房で行われている作業が視認できるなど、周囲とのつながりが自然に保たれることを意識しました。
- 東側には住宅が隣接しているため、防音対策を行うとともに利用者の多く集まる部屋は西側に面するように計画しました。積極的に木質化を図り、親しみやすい空間としています。
- 照明のまぶしさを感じにくいよう、間接照明を効果的に活用しています。照明の明るさと色も時間帯によって変化するサーカディアンリズムの調光を導入しています。
- 屋上には将来対応用の太陽光発電スペースを設け、地球温暖化対策も心がけています。また、停電時にも一定時間程度をまかなえる自家発電設備を備えています。

設置者	社会福祉法人一粒
建物名称	地域共生プラザびおもす
開設日	2022年4月1日
設計者	アライ設計
施行	丸和工業株式会社
建築場所	埼玉県北本市中丸9丁目259番
設計期間	令和3年7月～令和3年8月
工事期間	令和3年8月～令和4年3月
主要用途	障がい者支援施設 (施設入所支援・生活介護・就労B・就労移行) 障がい児通所支援事業所 (児童発達支援・放課後デイサービス) 居宅介護事業所 相談支援事業所 基幹相談支援センター
定員	施設入所支援 30名 短期入所 2名 生活介護 34名 就労継続B型 10名 就労移行支援 6名 児童発達・放デイ 10名

構造規模	鉄筋造 地上3階建 建物高さ 11.1m
建築面積	838.27㎡
延床面積	2,153.88㎡
仕上	<屋根>塩ビシート防水 <外壁>ALCパネル <開口部>アルミサッシ <内部床>フローリング 塩ビシート <内部壁>ビニールクロス <内部天井>合板UC塗装 ビニールクロス



地域共生プラザ

びおもす



社会福祉法人一粒 基本理念

- そこに暮らす人たちがいかなるハンディがあっても人間として認められその個性が尊重されること。
- 信望愛によって安心と安全、安定が守られた暮らしを営み、働く仲間や地域の人たちと共に支え合い認め合って生活すること。
- 社会の中で完全参加の困難な人が、自分の人生を継続し、認めあい、互いに助け合う暮らしを通して、目が行き届く福祉の里づくりをめざすこと。

社会福祉法人 一粒

地域共生プラザ びおもす

埼玉県北本市中丸9丁目259

TEL.048-580-7106 FAX.048-580-7113

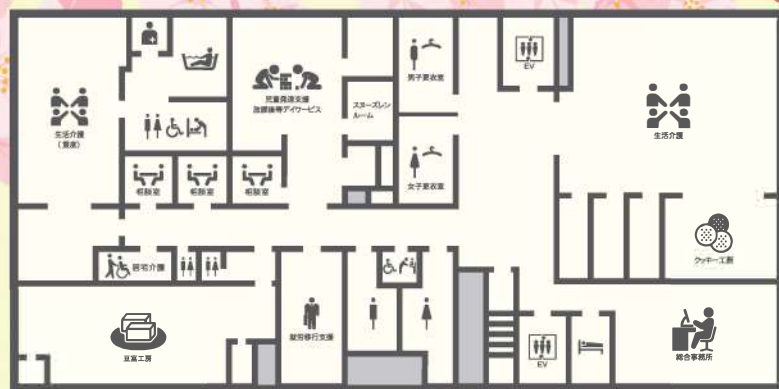
E-mail biomos@hitotubu.or.jp



社会福祉法人一粒は、2001年4月、鴻巣市鎌塚で知的障がい者の入所施設を開設して21年、この間、地域生活支援の充実に向けて、グループホーム、通所・相談支援・居宅介護等の事業所、介護付き有料老人ホーム、保育室などを整備してまいりました。この間、メンバーの皆様も高齢となり、4人の方の最期を看取り、葬儀納骨を執り行う中で、ご本人たちが、親なき後も安心して共に暮らし地域生活を続けていくためには、ゼロ歳から看取りまでの生涯支援の仕組みを整え、国の「地域生活支援拠点等構想」の実現を願うに至り、北本市中丸に「地域共生プラザびおもす」が、実現したものです。びおもすは、ギリシャ語の「命・生きる」を意味する *βίος* (ピオス) と「共に・一緒に」を意味する *ὁμός* (ホモス) と合わせて作った一粒の造語です。

社会福祉法人 一粒

1階 日中活動のフロア・総合事務室



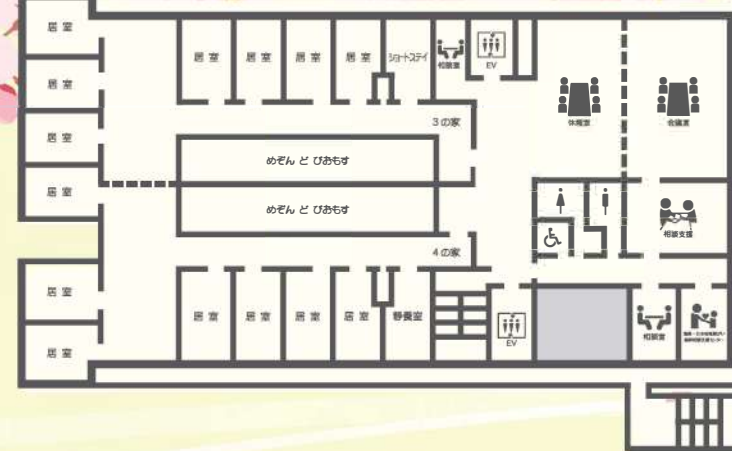
豆富工房



生活介護

- 1階は日中生活の場になります。
- 南側玄関入口上側には生活介護(重度利用者様用)、その隣には障がい児通所支援事業(児童発達・放デイ)、下側には就労Bとしての豆富工房とその隣には就労移行支援事業コーナー。
- 中央エレベーターホールを挟んで、生活介護事業スペース(内職班・個別活動班・おかし工房)と、事務室がしてあります。

3階 暮らしのフロア(女性)・職員休憩室・会議室・基幹相談支援センター



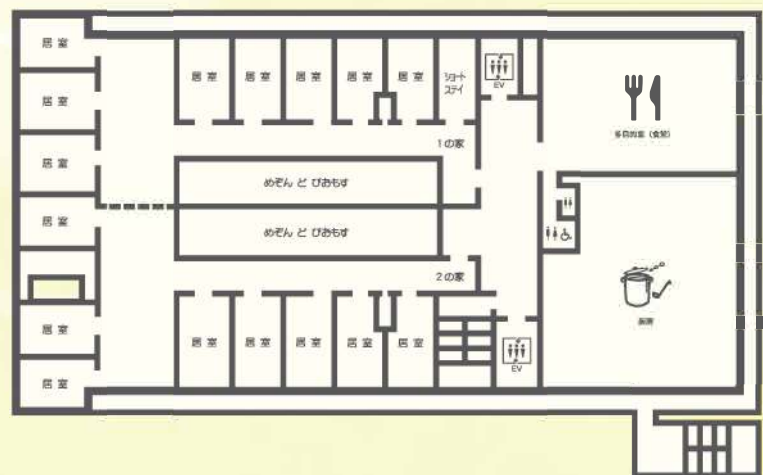
居室



玄関

- 女性7人のホームが2ユニット、ショートステイが1あります。
- エレベーターホールを挟んで右下には鴻巣・北本地域障がい者基幹相談支援センターと相談支援事業所(計画相談)があります。
- 右上には、普段は職員休憩室と会議室、避難スペースとしても稼働間仕切りを動かし、大きなスペースとして活用可能としております。その他、研修会、講座の開催等にもご利用いただきます。

2階 暮らしのフロア(男性)・多目的食堂・厨房



食堂・多目的室

- 男性8人のホームが2ユニット、ショートステイが1あります。
- エレベーターホールを挟んで右下には委託厨房区画を設置し、ご利用される入居者様・通所者様への料理提供をいたします。(各種行事にも対応)
- 換気や非接触型の設備など、新型コロナウイルス感染症対策にも配慮し、各居室、廊下、居間兼食堂、浴室とも、重度知的障がいのある方が安心して安全に暮らせるような空間・設備を備えました。
- 右上には、多目的室兼食堂を設置、通常は食事や休憩用として、年間を通しての行事や自治会活動などの場としても活用いたします。



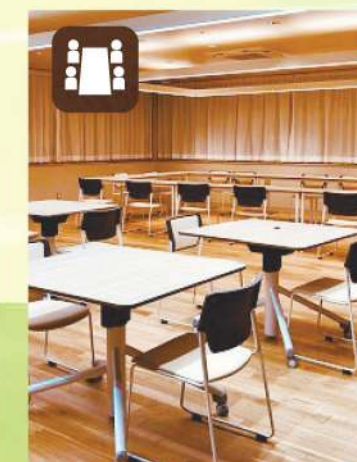
LDK



機械浴槽



生活介護(おかし工房)



職員休憩室・会議室



食堂・多目的室